

# 入善町 議会だより

## 3月定例議会

№. 30号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会  
富山県下新川郡入善町入膳3,255  
☎ 0765 (72) 1100



### 議案審議する 本会議場

#### ページ案内

3月定例会で決定したこと	2ページ
討論	3~4ページ
一般質問	4~10ページ
行政視察記	11ページ
寄付受入れ	12ページ

# (統合) 上青小学校建設に着手

第26回定例議会は3月9日から3月20日まで13日間の会期で開かれ、56年度予算総額66億676万円などを議決した。

## 着々と進む建設事業

### 56年度予算会計 特別会計を合せ66億676万円

56年度一般会計予算  
54億1千40万円

豪雪に関する  
決議を行う

56年度の主な事業計画

- (1) 勤労者福祉センターの建設  
鉄筋コンクリート2階建  
56・6平方メートル  
事業費1億95万円
- (2) 公営住宅の建設  
1棟18戸 鉄筋コンクリート3階建(各階6戸)  
1戸当り面積70平方メートル  
事業費2億4千250万円
- (3) 上青小学校の建設  
鉄筋コンクリート2階建  
58年4月開校  
今年度校舍建設2千平方メートル  
事業費3億3千80万円などを見積る。



◎ 豪雪に関する決議

38年以來の豪雪に見舞われ、家屋、農作物、山林等あらゆる施設に多大な被害を受け、激甚災害として国が特別の措置を講ぜられるよう要請する決議をした。内容は、

市町村に特別交付税の配分  
流雪、消雪装置の対策  
融雪後の判明する施設損傷  
補修工事費の助成 など  
政府は豪雪被害を激甚災害に指定し、4月14日閣議決定、17日関係政令が公布された。



欄山町営住宅

### 条例の制定・改正

- ◇ 予算以外の案件として、条例の改正11件、条例の制定1件、規約の変更1件が可決された。その主なものとして、
- ◇ 上飯野墓地公園条例の一部改正  
永代使用料が約9パーセント引き上げられた。
- ◇ 新川広域圏事務組合規約の変更  
救急医療体制の充実をはかるため、休日夜間急患センターを設置
- ◇ 重度心身障害者福祉年金条例の制定  
56年4月1日から、重度心身障害者の程度の重い者に対し、年間8千円の年金を支給する。
- ◇ 廃棄物の処理及び清掃に関する

条例の一部改正

語物値の高騰から、し尿汲取料18リットル60円を64円に、1回の最低汲取料1千200円を1千200円に改める。

### 人事

入善町固定資産評価審査委員に榎木威氏選任を承認。  
人権擁護委員に田原吉郎氏、入江安正氏の再任推薦を決定。

反対

討論

賛

成

議員報酬の

引上げなどに反対

九里郁子議員(共産)

56年度予算案を見ますと、引き続き学校建設や重度障害者年金制度の制定、保育所経費の町負担金の増額など各所に努力が見受けられるが、国民に三重苦(増税・公共料金値上げ、福祉・教育の切り下げ)を押しつける政府の方針に添っていることは否定出来ない。

農業についても全水田面積のパーセントを占める転作を農家に配分し、農民の生産意欲を失わせ農業発展に逆行しており、国に対し飼料穀物の輸入を抑え、エサ米など自給飼料の積極的な取組みを要求するとともに、地域に合ったエサ米の試作研究に取組む時期だと考える。

こうした一方毎年議員報酬の引上げや、町長等特別職の給料引上げが行われておりますが、不用不急の支出を削り、町民生活を守るためにこそまわすべきである。

国保会計についても、高額医療費の国庫負担の大幅減や、老人の増加、治療中心のゆがんだ保健医療体制など町独自ではどうにもならない面もあるが、三月末までの医療給付経過もみず厚生省の見積りそのままという予算案には反対である。従って議案第4号昭和56

年度入善町一般会計予算、議案第5号昭和56年度入善町国民健康保険特別会計予算、議案第11号入善町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について、議案第12号入善町長等の給料その他給与及び旅費支給条例の一部改正について、議案第22号入善町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について反対する。

住民のニーズに

対応した編成である

屋木忠義議員(自民)

56年度予算は総額66億600万円という本町史上最高の予算となり、入善町総合計画に基づく事業の推進と、住民ニーズに対応した編成がなされていると敬意を表している。

上青小学校建設事業は関係各位の協力により、今年継続事業として計上をみたことは、入善町発展の大きな躍進である。また公営住宅建設事業、勤労者福祉センター新築事業等各層の要望に応えた取り組みには高く評価する。

38年を越えた今冬の豪雪を、町県一体となり幹線道路の確保が図られたのであり、この経験を生かし除雪、道路の整備にと一層の努力を期待する。つきに学校建築の単価は従来より論議されてきたが、国の基準単価の適正化に努力を期

待したい。最後に国保特別会計の赤字の要因である老人医療費は国の別建のものとし、医療制度の抜本的改善を強く望んで全案件に対応し賛成する。

明るい町政を

要請する

福沢万次議員(社会)

厳しい情勢の中で義務的経費の抑制特に人件費の切りつめ、投資的経費も1.7パーセントと横ばいながら上青小学校の建設、町営住宅建設事業、勤労者福祉センターの建設など大きな事業が実施されることを評価する。

しかし補助事業が1.7パーセントと大きなウェイトを占め、町単独事業が1.7パーセントとなっており地方の時代にふさわしい町単独事業にも積極的に取り組んで欲しい。保育料保護者負担の引上げについては国の基準、町の超過負担、希望者をほとんど入れるという立場からやむを得ないものがあるが保育料の徴収階層の決め方が所得税額のみでワンクブけられていることから、給与所得者にのみシワ寄せがあり、国に対し公平な徴収基準にするよう要請して欲しい。

国保税の2.6パーセントの大幅増額の要因である老人医療費は、1人当たり20万円となっており一般会計からの繰入れが2千300万円もある。これ以上繰り入れが増せば社

会保険または国保加入以外の人達が二重に負担されることにもなり国会でも医療体系の見直し、特に老人医療対策について論議されているが抜本的改正を要請する。

議員報酬増額による条例改正については議員活動を大いにやれという意味も含まれていると思うが報酬を据置いて研修費を増額した方が当を得ている。財政も厳しい折から姿勢を正して行かなければならない。

最後に町民は増税や公共料金値上げ等で生活防衛に真剣に取り組んでおり、執行にあたっては節度ある明るい町政を要望して今期定例会に上程された全案件に賛成する。

事業は積極的に

取り組んでいる

小林三雄議員(自民)

緊縮財政の折、編成された今年度予算は、前年度対比1.7パーセントとまず中庸を得たものである。公債比率であるが、債務負担行為を合せて15パーセントを越してはならないと町長はいつも言っておられるが、56年度末には14パーセントとなり、健全財政を堅持するにはばつばつ減量経営を考慮すべきである。土地開発公社設立については将来財政負担の隠れみよになる恐れがあり、設立について

は慎重に検討すべきである。上青小学校建設は誠に意義があり喜ばしいことである。しかし学校教育に環境差を作ってはならず残余の学校建設計画は早急を要すると思う。また新川むつみ園の建設も福祉行政の一つの時代を画したものと高く評価し、法人組織とは言え援助を惜しんではならない。

つきに不燃焼物の埋め立て用地の購入は、未執行に終ることなく努力されたい。

歳入の柱である町税の前年度対比2.5パーセントの大幅な伸びは、農業所得のダウンにもかかわらずのびたのは給与所得の増以外なく、これは住民の血税であり、適正課税に留意されたい。

国、県支出金についても国の緊縮予算のシワ寄せで、大きな伸びはなく同時に保育所措置負担金等の問題であるが国、県に対し超過負担の解消に強く働きかけるべきである。

町債については前年度対比3.1パーセント増となっており、主たるものは公営住宅建設事業、上青小学校建設事業、農村モデル、道路改良等であるが、いずれも将来の財政負担につながることで今後の財政計画をたてる上において十二分に配慮が必要である。

以上内容においては一部不満な点もあるが、財政確保の困難な中において積極的に投資事業に取り組んでいる点を考えて全議案に賛成する。

# 賛成

## 効率的配分である

大林政雄議員（自民）

56年度予算については、極めて厳しい財政事情の中で健全財政を堅持し、教育の振興、社会福祉の充実、今冬の豪雪を教訓とした無害街作りに積極的に取り組む、公債費も債務負担ふくめて11パーセントにおさえた効率的配分には高く評価する。

国保特別会計は年を追って苦しい運営となっており、老人医療費の高騰、高齢化社会にどう対処するか今後の課題である。

議員報酬及び町3役の給与等については、町民の付託に応えるべく鋭意努力することを誓って特別職報酬審議会の答申を尊重する。

新川広域圏事務組合規約の休日夜間急患センターの設置はまことに当を得た施策であり、今後医師会と充分なコンセンサスを図り内容充実に努力願いたい。

職員勤務時間に関する条例改正については、社会の進歩、時代の流れに鑑み極力慎重を期し、窓口サービスの低下のそりを受けないよう、公務員としての自覚を新たに運営にあたって欲しい。

請願、陳情については妥当な要請であり、財政逼迫の折から可能な限り実施をお願いして全上程議案に賛意を表する。

# 町政一般質問

## 56年豪雪対策に論議が集まる！

### 中央主要道路

### 都市計画道路は万全なのか

上野幸一議員（自民）

問

自民党議員会を代表して質問する。国の赤字国債は国民1人当たり60万円にもなると言われているが、入善町では総合計画に基づいて本年度予算が組まれている。町の限らない発展が近隣市町の中核都市として位置づけられ、学校整備、都市計画事業等数多くの適債事業は、公債費の増えが避けられない。町財政に対する町長の施政と執行の心構えについて伺いたい。

町長

入善町は健全財政を絶対に堅持し、積極財政を進め財政に破綻をきたさないよう努力する。町予算54億1千40万円のうち、町税、地方交付税などの一般財源は55パーセントであり、県内類似町村に比べて追従を許さない。

公債費は債務負担行為を合せても11.2パーセントである。それにいつも引き合っているが人件費は23.3パーセントで、25パーセントを限界として越さないようにしている。

また、国、県の施策に呼応させつつ町の建設的な姿勢である総合計画の基本理念にのっとり、投資的事業を11.8パーセントとした。

問

入善町将来のビジョンの一つ生きがいのある町づくりは、人間性を豊かな教育の向上とより良い環境を求めることである。昨今青少年の非行行為、家庭内暴力、校内暴力などと報道されているが、非行防止に本町はどのような対策を講じられるか。

町長

青少年の非行問題は入善町に皆無とはいえないが、健全な町であると思っている。青少年の非行についてはゆるがせに出来ない問題で、防止対策として季節的に補習センターをつくり補習員の巡回指導と環境を浄化し、青少年育成町民会議を設立し、レクリエーション、スポーツ等計画し青少年の健全育成に当りたい。

問

県下の経済、交通状態はイブロック（富山・高岡・新川・砺波）に別れ、入善町は新川ブロックの中で広大な平地と豊富な水資源を持ち、将来広域圏の中心であるということから、黒部川右岸道路建設を申し入れて町長から説明を受けたが、これは入善町中央主要道路、都市計画事業の延長、県道入善新屋線から右岸道路まで

の間に高速道路と北陸新幹線の交差が考えられるので、事前に計画を準備され万全の構えが必要であり、町長の見解を承りたい。

町長

都市計画、中町線は連鎖商店街として再開発し見違えるような町になった。町の外周道路を含めて市街地と中央通線を入善駅前公園線とし、計画幅15メートルを20メートルとして、車道11メートル街路歩道9メートル、町10年の大計の中で中央公園めざして緑豊かな街路となり、公園都市宣言の町にふさわしいものとなる。駅より8号線まで20メートル幅、延長80メートル、8号線より公園まで16メートル幅、延長1千150メートルの大事業であり県営で行う。

黒部川右岸道路は県営でスポンサーは関電、建設者が協力、入善町から県道新設、愛本、栗虫、音沢を経て建設省予算月ダムまでの未開地域の開発と観光開発道路にしたい。

関連質問 五十里浅言議員（自民）

入善駅、公園線の実現は好ましいが、豪雪時は市街地から下流の住民が清流雪で幾多の水害にあう恐れがある。排水の始末についての考えを聞きたい。

町長

現在道路は除雪するのが建前となっており、消雪、流雪で下流に水害が起きないようにする責任があるので、国で財源をみてもらい水害が起きないように努力する。

# 勤労者福祉センターの 設置場所は

本田 幸光 議員（自民ク）

**問** 自民クラブ、自民同志会を代表して質問する。  
56年度一般会計予算中歳入は確保できるか。  
義務的経費が55年度より1億9千万円も増えているが、投資事業に影響がないのか伺いたい。

**町長** 予算の歳入確保には問題はない。

税は現計を参考にし、実際の伸び率を見て適確に把握している。交付税の算定も財政基準等から推定し無理なものではないし、国、県補助金等の確保には万全を期している。義務的経費は5.4パーセント、投資的経費は11.4パーセントである。人件費は極力おさえていくつもりであり、決して投資的経費を圧迫することはない。

**問** 無雪害街づくり事業で、県下6カ所指定されると聞いているが、入善町は該当になるか。

**町長** 無雪害街づくり事業に県下6カ所が指定され、入善町も該当になった。特に市街を構成している地域が優先となっている。  
**問** 12月26日の電源開発調整審議会

で、発電所計画を認可しているがその後の状況はどうなっているのか。入善町農協総会でも冷害と補償問題で組合長は答弁に苦勞したと聞いている。農協として、両電力会社から事情を聞くため説明会を開くということを知っているがどうか。

**町長**

電源開発調査審議会が北陸電力関西電力の水力発電所計画に許可を与えたのは、クリーンエネルギーとしての水力開発が必要で、国家的要請に基づいたものである。調査による水温の低下は0.5程度であり、それに対する補償は極めて微少である。  
また発電所の監視体制はテレメーターで把握し、その監視体制は当然本町に設置する。

国営黒部合口用水改修に電気がいる場合に北陸電力が協力をする。その時農協の負担は慣行により代って北陸電力が負担すると言っている。いずれにせよ建設に同意するしないはこれからの問題である。  
農協に対する説明会については終ったのではなからうかと思っている。

**問** 勤労者福祉センター建設は新年度予算に計上され、誠に喜ばしい事である。  
施設の利用は主に休日、祭日、夜間が予想される。駐車施設の確保も考え、勤労者福祉センターの設置場所をどのように考えているのか。

また中央通り線の建設に当り、都市計画事業全体の中で官公署、商店、住宅、公園などの位置づけをどう考えるか。  
**町長** 勤労者福祉センターの建設補助

# 公共建物を守る 雪害対策について

大林政雄 議員（自民）

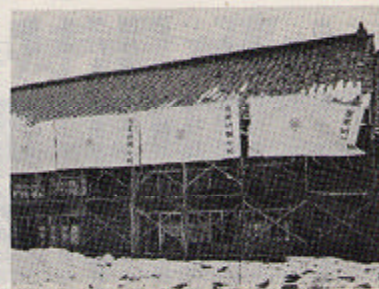
**問** 近年希な豪雪に見舞われ被害が大きかったが、特別豪雪地帯の指定は町村単位で、町内山手は条件を満たしながら特典を受けられない。この際、国に働きかけるべきかと思う。また総合計画でも豪雪については計画されていないので、将来起ると予想される豪雪の悲劇から町民を守る雪害対策について伺いたい。

**町長** 昔はもっと降ったことがあったが社会構造が違ってきて被害が伴ってきている。私達は雪国で、ある程度堪えるよう鍛えられているが

金に4千100万円の決定をみた。この補助金は非常に困難であったが入善町の農工一体化が評価され知事をはじめ皆様の協力により確定した。勤労者の方々に感謝の意を表し建設する。  
駐車施設、維持管理は慎重に考える。またどのようなものにするかは地区労あるいはいろんな方の意見を参考にし、他町に誘う施設としたい。  
都市計画の中でどのように位置づけをするかは考えていなく、場所等も充分相談しながら検討したい。

実情把握に見えた国土庁長官、国会議員に現状を訴え、行政面見直しを要望している。  
県に無雪害の雪に強い町づくりを、消雪、流雪溝に力を入れて欲しいと要望している。56年は町有ローターリー車1台新規購入と民間の除雪機械借り上げて除雪能力の増大を図っており、豪雪の最悪の事態を基礎に計画を立てている。

**問** 豪雪による公共建物の被害甚大である。  
山手の民家では、屋根雪降し4、5回、吹き溜りでは7、8回も行っており、学校では人夫による雪



はそんな瓦の修理

降し1回とPTA等の奉仕で軒端の雪降しを行ったが、瓦の損傷は甚だしく雨漏りをバケツで受けながら授業を行っている状態だ。建物管理はおそまつである。予想しなかった豪雪であったが、雪降し回数が増やせば被害も少なくなかったと思う。公共建物の管理責任についての当局の所信を問う。

**町長**

町職員が日曜返上して除雪にあたったが、限られた人員でもあり公共建物全部の雪降しは到底出来なかった。小中学校は人を雇ってやってもらったり、PTAの皆様の協力を得たのが限界であった。被害も積算中が全部出ていないが教育財産は地方公共団体の長の統括の元に教育委員会が管理し、教育委員会の規程で校長は施設設備を総括して整備に努力する責任分担となっている。  
今年のような豪雪では町民総ぐるみで対策にあたらねばならず、明年からはこの教訓を生かして立案していきたい。

# 56年度予算執行の見通し

岩場俊議員 (民社)

問

56年度の入善町一般会計予算は、国が公共事業費の伸び率をゼロにおさえ、財政投融資では7パーセント、地方財政計画では7パーセントにおさえたいにもかかわらず、町の投資的経費はそれらを上回る8パーセントの伸び率となったことは、町当局の意欲的な姿勢と努力に敬意を表する。

ただ国民健康保険特別会計における保険税の20パーセントと大幅にあげざるを得なかったことについて、今後の保険行政についての所信を伺いたい。

町長

今年度の国予算は、民間の活力に期待する予算であるが、町も民間の活力をできるだけ補完する意味で努力し、しかも健全で積極的な予算が組めたと思っている。

国民健康保険の問題は、町のみで解決出来ない困難な問題をかかえているが、さりとて一般会計からの繰入れには限度があり、制度の改正を国に要望することは勿論早期受診による病気の早期発見に つとめ、予防医療にも重点を置いて行政を進めたい。

問

昨年の3月議会で見積り が過少ではないかと質問していた

が、55年度税収は当初予算に比べ2億円近く増が見込まれる。

56年度分でも3千万から5千万円ほど過少でないか。また法人税調定の徴収見込額25パーセントの根拠は。

町長

所得下限の引き上げがあり、納税者数が減少、冷夏による農業所得の減少等、適切な積み上げによる税収を見込んでいる。法人税についてはも若干の落ち込みがあると見ているので、ぎりぎり予算化したと思っている。

法人の場合は、延納優遇措置という制度があり、次年度にずれ込むものがあるからで、実質的には100パーセント徴収と考えられている。

問

借務負担も含めた公債比率は年々上昇し、昭和56年度は14パーセントであり、一般会計にしろる投資的経費の割合を常に40パーセント台として、今後も予算を組むという積極性を維持するとすれば、公債比率は15パーセントを超えることは必定である。

町長は15パーセントを死守すると言っておられるが、その考えに変わりがないとすれば矛盾しないか。

町長

借務負担の償還をくりのべてで

も15パーセントの線を守り、健全財政、積極財政をつらぬいてゆきたい。

問

超過負担の解消がさげばれてから久しいが、建設事業など町が国の基準よりも大きいものをつくるなど、町自体の考えで負担がふえるのは別として、明らかに国から委託されている事務費においてすら超過負担があることは問題であると思うが。

町長

超過負担の解消には鋭意努力をしているがなかなか難しい。

ご指摘のように国民年金事務費、国民健康保険事務費、農業委員会日雇健保事務費等多額の超過負担がみられる。この原因は国の基準が低いために生じている負担であり、決して職員的能力が低い、給料が高いとかという原因ではない。

問

北陸新幹線は表日本との格差をなくする唯一の方法と考えられるが、今年のような豪雪を克服出来ない北陸線を抱え、さらに北陸新幹線に多大な投資と昨今の県議会の知事答弁では、何らかの形で地元負担があり得るといふ考えがあるようだが問題ではないか。

また入善駅特急停車させる取り組みと、駅前自転車置場の設置について考えを聞きたい。

町長

北陸線の雪に対する強化が優先されるべきであり、新幹線の地元

負担は最終的にはないものと確信している。これは知事の建設が決まるまでの作戦だと思っている。

入善駅特急停車は入善町民号を出すなど、町をあげて運動を進めるとともに国鉄総裁との会見で理解を深めてもらった。金鉄局、国会等へ出来ることは何でも実施し特急停車をからとりたい。また自転車置場も今年中に設置する。

## 豪雪による

### 被害状況を問う

岡島松次郎議員 (自民)

問

北洋漁業従事者及び北方領土引揚者が多い入善町では、日ソ関係の現状から見て北方領土の返還交渉は難しく長期化しているが、その実現への取り組みと、出漁者が安心して漁獲出来るよう町はもと支援すべきではないか。

町長

政府では去る2月7日を「北方領土の日」と定め、超党派で北方領土返還運動を推進することになった。入善町では昭和47年3月議会では北方領土早期復帰促進に関する決議がなされており、県内の黒部、魚津、新湊市などと組織する「富山県北方領土復帰促進協議会」に積極的に参加し、北洋における漁業の安全操業確立と早期返還に取り組んでいる。

56年の豪雪は農業、商業、工業など、住民への影響は非常に大きかったが、その被害状況と今後の対策はどうなっているか。

町長

野中、舟見の詳細な数値は出ていないので、適格に把握することは困難であるが、26日以前の推定では建物、施設被害1億9千900万円、除雪費1億1千100万円、間接被害3千800万円、合計3億4千100万円である。今後の対策としてロータリー除雪車の導入など機械力の増強と、消・流雪装置の設置など「無雪害街づくり」事業の実施に取り組み県へ働きかけたい。

関連質問 若島信行議員 (自民)

変作は豪雪により全滅するのではないか。散布されたブラックカーボンもその後の豪雪で効果が薄れたので再度提供する考えと、雪どけ後速やかに被害調査されたい。また球根についての被害対応策はどうか。

農政課長

ブラックカーボン散布は2月中旬旬行い、その後雪も溶けはじめカーボンは見えてきたし、散布は予想以上の効果があった。近日農業団体及び山手の生産組合とその対応について検討する会合を持ちたい。また今後10アール以上の被害があれば共済組合法を適応させたいと思っている。

球根についてはまだ雪下で確認出来ないが、球根組合、生産者と話し合い対応したい。

# 安定性の高い 作物はないのか

池原金与志議員（自民ク）

問  
緑のマスタープランが策定された。この機会に、日本古来の美を生かし、風格を備えた旧邸宅の庭園を保存する考えはないか。

町長  
個人庭園の保存についてはその規模にもよるが、都市公園としての機能をそなえ無償開放が可能なら、公園整備を考慮したい。

問  
今年の転作面積は70ヘクタールと大幅に強いられている。  
米作農家に対し、町は農協をはじめ各農業団体と転作問題を含め農政の大きな転換について高い次元からの意見交換と協調を図って欲しいが、町長の考えを問う。

政府の転作奨励金の仕組みに  
変化があり、部落組織をまとめる推進員に対し、いま一步の手厚い理解を示すとともに、転作面積の変化に対応出来、将来性ある定着作物を、町単独で見い出せないか。  
また定着化補助金は、町単独2千円上積み4千円となったことは高く評価するが、1ヘクタールと3ヘクタールの団地が同額ということには矛盾を感じないか。

町長  
入善町農協及び普及事務所と連携をとり協力を得て、転作目標を

# 上青小学校建設の 次はどこなのか

竹内 壮太議員（無）

達成してまいりたい。  
実際に仕事をしていただく推進員の方へは、大きな額ではないが1人当たり1万1千円、総額にして130万4千円予算措置をしてある。  
農政課長  
定着可能な、流通上あるいは安

定性高い特定作物として麦、飼料作物があるが、湿田向けにハト麦、面積消化には多少問題があるが、サフラン、トキキなどに目を向けまた小麦なども品種改良し取り上げたい。  
定着化奨励補助金は、従来計画園地の1ヘクタールと、連担園地の1ヘクタールで、制度上5千円の差がついているし、作業体系作物の肥培管理の利便性があるし矛盾はないと考えている。

問  
56年度から上青小学校の建設が始まるが、先般入善地区内で町内12校を対象に調査したところ、横山小学校が一番悪かったようである。そこで上青小学校建設の次はどこにするのか、仮に1校つくるのに3年かかるとして、飯野、横山、門山、舟見、野中、そして上青と18年間、後まわしになる学校はどうなるのか。ほおっておけないと思うが町長の考えを聞きたい。

町長  
ご指摘の通りで一番悪いのは横山小学校である。今学校を建設すると3ヶ年、実質2ヶ年かかるので大変であるが、町の余裕ある財源を全部教育費にかけられるつもりである。

上青小学校の次は白紙であるが議員の方、住民の方、PTAの方教育委員会と相談しながら考えていきたい。  
危険校舎には毎年相当な修繕費をかけているし、教材についても学級数に応じ、文部省の基準に従って充実していく。

運動場について、入善中学校、入善小学校の不整備が指摘されている。両校のグラウンドは、天気良く風のある日には砂じんが舞い上り、付近の民家へ吹き込むので洗濯物なども安心して干せない現状である。何か良い方法はないか。  
町長  
入善中学校のグラウンドは55年度予算で階段式スタンド、バックネ

町民の世論を結果集  
して入善駅に  
特急を止めよう  
入善駅特急停車促進同盟会

# 入善町民号を 運行する考えは

福沢万次議員（社会）

問  
入善小学校のグラウンドも砂じんを防止するため、散水装置の工事をして整備をはかり、教育効果を高め教育環境づくりに努めたい。

町長  
入善高校の学級増は、何年度から何学級増になるのか伺いたい。

入善高校のグラウンド整備は今年度で完了し、木造校舎も2カ年で改築する。畜舎の移転は周辺から苦情が出ており、同意を得次第に行う。

学級増についてはブロック制の壁が厚く、これを打破しなければならぬ。明年ないし明後年に行われる増改築にあわせて、是非2学級増をPTA、県議会議員の方と努力していきたいと思っ

てい

問  
昭和56年度一般会計予算の伸びは87パーセントである。県と同様活力ある町づくりの中で、特に注意しなければならぬのは経常経費の縮減であり、どのような対応がなされているか。  
また公債費についてであるが、上青小学校、町営住宅、勤労者福祉センター等投資的事業により、町債が増加するのではないか、考えを問う。



町長

町職員を増やさないこと、公共  
建物の維持修繕費はできるだけ節  
減する。特に燃料費については節  
約する。各種補助金では、経常的  
団体の補助金は据え置いて、経常  
経費の節減につとめるよう編成し  
た。

公債費については、予算に対す  
る公債比率は15パーセント以内が  
限度であるとしており、堅く守っ  
て健全財政を堅持していきたい。

問

水田再編対策事業費は昨年より  
転作面積が増えているのに、80万  
円減額されたのはなぜか。

町長

国の施策も次々と変わり、その  
対応に欠けている面もあると思う。  
水田再編対策事業費のうち、農業  
生産総合振興事業費補助金が減少  
になったが、町単で定着化補助金  
など増額している。

問

北陸新幹線建設は財界や県が意  
欲を燃やしているが、実施はいつ  
になるかわからない。それよりも  
入善駅に特急停車させるための実  
績を上げることが大切であり、臨  
時列車（町民号）の実施計画を含  
めて、どのように運動を進めるの  
か。

町長

北陸新幹線建設は賛成だが、今  
の時点では雪に強い北陸線にしな  
ければならない。入善駅に特急停  
車させるためには、駅の実績を上  
げることが条件であり、臨時列車

新川むつみ園



（町民号）を運行することは、国  
鉄の受けが良いと思われる。  
30名程度の臨時列車を運行する  
企画は、毎年やるつもりでいる。  
それにあわせて特急停車促進同盟  
の組織をあげて、陳情運動を続け  
るようにする。

問

今冬の豪雪は、雪の降らない地  
方との差は大変なもので、国の施  
策で無雪害対策をしてもらいたい。  
入善町の豊富な地下水を利用し  
た消雪装置の年次計画と、雪どけ  
後の農作物、施設の被害に対する  
激甚災害の指定を要望し、雪を克  
服した入善町をつくることについ  
て所見を聞きたい。

町長

豪雪という定義はありませんが  
長く降り続き史上3番目の大雪で

あった。社会構造が変わり、道路  
は車が通行出来て当然となってい  
ていく。入善町の除雪対策は他町  
と比べ劣っていないが、被害総額  
は約3億5千万円と巨額に達してい  
る。また増えると思うが、富山県  
の無雪害町づくりの指定を入善町  
が受け、積極的に消雪道路建設等  
に取り組んでいきたい。

問

最後に町長の政治姿勢について  
問う。最近たまたま、二、三の首  
長の不行跡が新聞報道されている。  
そのような事があってはならない。  
これを他山の石として自戒して欲  
しい。また町長が職員に対して暴  
力行為があったと仄聞する。事実  
の有無は別として、清潔にして節  
度ある行政姿勢を持って町政の執  
行にあたって欲しい。

町長

鈴木内閣のキャッチフレーズは  
「ゆとりと思いやり」。中沖知事  
は「活力ある県政」をあげ、入善  
町は「きれいで、豊かで、生きが  
いのある町」づくりに全力投球さ  
れているなかで、今年は義務的経  
費の増高に対処し、総合計画に基  
づいた投資的事業を積極的に推進  
すると言っておられるが、今後の  
方針を聞きたい。

# 障害者福祉対策について

上田 義信 議員（自民同）

問

今年度予算で建設される勤労者  
福祉会館は、通産省の補助金を得  
て行うもので、昨年も通産省の補  
助金を受けており、2年連続受け  
るのは全国でも例のない事である。  
入善町の勤労者のためにと知事に  
働きかけてもらい認められたもの  
です。このように投資的事業には  
積極的に取り組んでいく。

町長

今冬の豪雪に町をあげて対処さ  
れ感謝している。また消雪装置の  
威力はすばらしく、今後豊富な地  
下水を利用して、雪のない道路に  
する構想を樹立してはどうか。

問

融雪と同時に道路、ガー  
ドレール、防護柵等の破損、  
交通標識の倒壊など、これらが事  
故につながる心配があり、早急な

復旧を要すると思うが、これらに  
ついて伺いたい。

町長

豪雪に対し最も弱いのは第1次  
産業であり、自然現象に打ち勝っ  
ていくことが先決である。雪害対  
策は国の財政投融資なり施策で補  
い、消雪装置も推進していきたい。  
道路、ガードレール等の破損に  
ついてですが、5千万円程の大き  
な数字が出ています。入善土木事  
務所、建設者黒部工務事務所、警  
察署と連携を取りながら早急に復  
旧を図りたいと思っております。

問

心身障害者のために、公共的な  
場所や集会場などの人口の階段を  
スロープに出来る所がないか聞か  
たい。また近隣の市町で心身障害  
者雇用の事業主に対し、資金助成  
等を試みている所がないか。働く  
権利を与えるためにも、就職状況  
等の概要がわかれば教示願いたい。

町長

心身障害者に対する思いやりで  
すが、既存の施設については構造  
上無理なものが非常に多いので、  
これからの施設については斜路に  
して、障害者の方も入りやすいよ  
うに配慮していきたい。  
雇用については、健全な身体



方でも就職が困難な時期でもあり  
 なかなか難しいと思うが、職種に  
 よっては充分出来るものもあり、  
 事業主の方に見通しをたてていた  
 だき、長く続けて雇っていただい  
 ないようにしてもらいたいと考えてい  
 る。

れながら、障害者団体の反対があ  
 り行われていない。  
 職業安定所に問い合わせると、  
 障害者雇用未達成の企業があるが  
 秘密に属し聞かせてくれないので  
 就職状況は把握出来ない。  
 しかし、個々について聞いてみ  
 ると、就職されている方も相当数  
 ある。

### 老朽化した学校に どう対処するのか

九里 郁子 議員 (共産)

完成してから一年もたっていないのに入善中学校体育館が雨もり  
 している。また小学校の玄関で問  
 題なのは舟見小学校と野中小学校  
 であるが、玄関で靴を脱いで水で  
 むれた廊下を歩き、教室前で内ば  
 きにはきかえるというのでは子供  
 達が可愛想である。この点につい  
 て伺いたい。

町長

入善中学校体育館の雨もりの経  
 過と実態を充分調査するよう命じ  
 ている。今冬の降雪は異常であり  
 暖気と降雨によりシャーベット状  
 になり、カワラ棒の高さ6センチ  
 を越え内部に漏水したものである。  
 構造制約上防ぎようがないと聞い  
 ている。外壁の原因については強  
 風雨時に予想以上の風圧を受け、  
 外壁板金のアルミ水切の立上り部

問

を越えて雨水を押し入れたもので  
 ある。舟見小学校と野中小学校の  
 玄関の問題であるが、実情がよくわ  
 かったので何とか改善をはかりたい。  
 どちらにしてもほおっておけな  
 いので余裕ある限り教育にあてた  
 いと思っている。

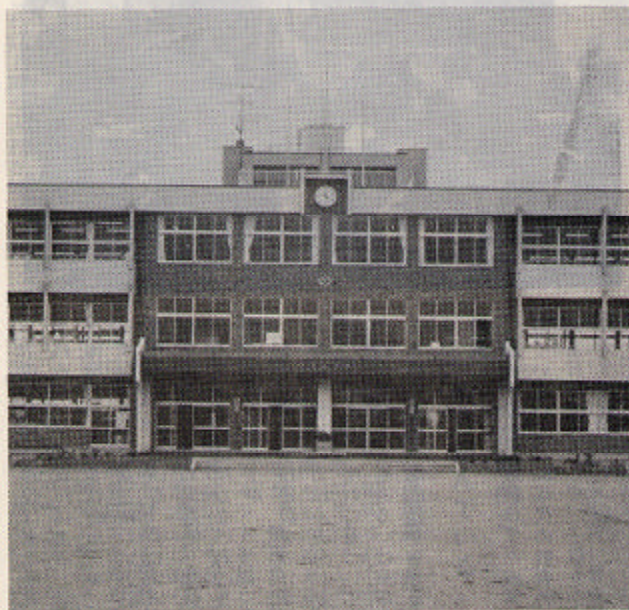
問

国際障害者年にあたり、国、県  
 町の障害者に対する各種の制度が  
 あることを障害者の方々にパンフ  
 レット等を用い知らせる必要があ  
 るのではないか。  
 耳の不自由な家庭には呼び鈴の  
 代わりにシグナルランプを取り付  
 けることや、町職員を対象に手話  
 講習会を開く考えはないか。

町長

県でもパンフレットのことは考  
 えており、県にまとめてもらい手  
 引書のようなものを作り配布する

黒東小学校



ことを考えたい。またシグナルラ  
 ンプについては要望が強ければ取  
 り付けたいと思っている。  
 手話講習会については月1回位  
 開いて対処していきたい。

町長

郊外に大型店が出来ることは反  
 対である。大型店に対する考え方  
 として、しいて言えば商店街の中  
 心に進出すればよいと思っている。  
 問題なのは黒部市や朝日町に大  
 型店が進出した場合に、入善町の  
 お客を取られる恐れがある。だか  
 ら対策に苦慮しているのが実状で  
 ある。

問

水田の有利性を生かしながら転  
 作を図るには、「エサ米」を作る  
 ことが良策である。一方ではエサ  
 用穀物の輸入が増大し、全国的に  
 問題になっている。エサ米への転  
 作の種子の確保と指導、援助につ

いての考えはどうか。

昨年の冷夏で減収した西瓜につ  
 いて、農業に備える程度の補助が  
 出されたが、今冬の豪雪で被害を  
 うけたイチゴも同程度の補助金を  
 出せないか伺いたい。

町長

エサ米を作りたいという農家の  
 方があれば、農政課へ相談に来て  
 欲しい。反収は決して高くないの  
 であるが、作られる方がおれば相  
 談にのり対処したいと思う。  
 イチゴは地場産業を育成する意  
 味で優遇措置をしているが、農政  
 課や団体責任者と相談し対処した  
 い。また県もビニールハウス等に  
 対しての災害補償も検討しており  
 町も検討を進めている。

問

除雪車の入らない町道に対する  
 対策と、町民に対する除雪協力費  
 等に対して町長の考えを聞きたい。  
 また流雪溝の水量が特に舟見の  
 場合確保されていなく、浸水につ  
 ながるので水量確保の対応はど  
 うなっているか。

町長

県無雪害街づくりも市町村の1  
 つに入善町が指定されたことでも  
 あり消雪化を積極的に進めたい。  
 また除雪についての協力をいた  
 いたことについては、区長さんに  
 調査を依頼しており、それによっ  
 て善処したい。

町長

今後、流雪溝の水量については  
 努力し確保したい。

# 新川広域圏 合併はどうか

若島信行議員(自民)

問

今冬の豪雪は県下各地に大きな  
傷痕を残し、知事は無雪害都市づ  
くりの計画を検討している。

入善町において消雪装置が威力  
を発揮したことは承知している。  
豊富な地下水を利用して、機械  
除雪の出来ない町道には優先して  
消雪装置を実施すべきと思うが町  
長の考えを問う。

町長

町内消雪装置の現況は4千回メ  
ートルで、今冬の豪雪において充  
分効果を発揮した。一方流雪  
溝は9千回メートル、また町有除  
雪車と民間所有の除雪車を借上げ  
て除雪に当たったが、これから  
は消雪装置の希望がますます多  
くなるので工事費については地元で  
2割持っていたり、装置維持の  
電気料も地元でと考えている。

問

広域圏合併問題について、2月  
13日の広域圏事務組合議の席上  
で提起され、自民党・魚津市議  
会では市内各種団体長にアンケート  
配布し回収することにしていて  
聞く。合併にはメリット、デメリ  
ットがあり、入善町議会に詳細な  
報告がないが、地域住民の理解と  
共感を博すること、行政の重要問  
題であり町長はこの事実を掌握し

どう考えているか伺いたい。

町長

広域圏組合議員でどう話し合わ  
れたかわからないが、参考までに  
合併は難しい問題であり、現在人  
口5万人でない市になれないの  
で、仮に入善町、朝日町が合併し  
ても4万9千人で市になれない。  
また魚津市を含めた2市3町合併し  
てもメリットがあると思えず、  
広域圏組合側では話し合った  
ことはない。

# 教員の 国内研修はどうか

石川昭男議員(自民)

問

中学校の卒業生は急増し、入善  
高校の生徒増に備えて、普通科一  
学級増設を期待している。このた  
め校舎の建設、倉庫の移転問題等  
地元の要望を取り入れて昭和57年  
度までに解決したいと思うがどう  
か。

町長

入善高校の学級増については努  
力をしている。中学校の卒業生が



上青小学校の建設は本年度着工  
されるが、予算資料によると学校  
全体構想として多目的ホール、オ  
ープンスペースなど新しい方針が  
取り入れられている。オープン教  
育を抜きにしても先進地と類似し  
た点をふるに活用しなければなら  
ないと思うがどうか。

また上青小学校建設までに学校  
の運営、施設の方法を十分に研究  
すべきであり、それに基づいて専  
門的な教員を本年あるいは来年度  
5名程先進地へ国内留学させる考  
えはないか。

町長

上青小学校の設計はまだ成案を  
得ていないが、80年代の教育の先  
端を行く学校として、子供を中心  
に先生の教えやすいものにし、オ  
ープンスペースの方法も考えられ  
るが、これは慎重に考えたい。  
先進地の学校等を十分に視察し  
てもらい、大勢の方々の意見を参  
考に取り入れ、基本的には緑の多  
いゆとりのある学校にしたい。

それと教職員の資質の向上の為  
国内研修には特に力を入れ、56年  
度長期研修1名、短期研修小学校  
は15名、中学校は8名の職員を予  
定している。

問

集落用水の改修が行われている  
が、予算の制約上遅れている。そ  
こで年次計画をたて、生活用水を  
改修する必要があると思う。園家  
用水はほ場整備で除外されたので  
あるが、防火用水を兼ねているの  
で早急に改修する考えはないか。

町長

園家用水の改修については実績  
を把握していないが、地元の皆さ  
んにご迷惑をかけていることでも  
あり、担当課に検討させる。

問

勤労青少年ホームの利用者は、  
大変多い。運動場、プール、駐車  
場などを整備し、青少年が活動で  
きるよう整備する考えはないか。

町長

勤労青少年ホームの施設の利  
用者は今までに、青年で3万6千  
26名、一般で5万8千62名、合計  
9万4千98名となっている。ご指  
摘の通り、種々の点で不備のある  
ことも承知している。駐車場、ア  
スレチックス、海水浴場等の整備  
については、町の財源ともならみ  
合わせ、今すぐし時間をかけて検  
討してみたい。

## 議会のうごき

2月

- 16日 議員県外行政視察
- 18日 (国会、静岡県富士川町)
- 25日 議会運営委員会
- 26日 新川広域圏議会魚津
- 27日 議員全員協議会
- 3月
- 9日 第26回議会定例会  
議会運営委員会
- 11日 第26回議会定例会
- 12日 第26回議会定例会
- 13日 文教厚生委員会

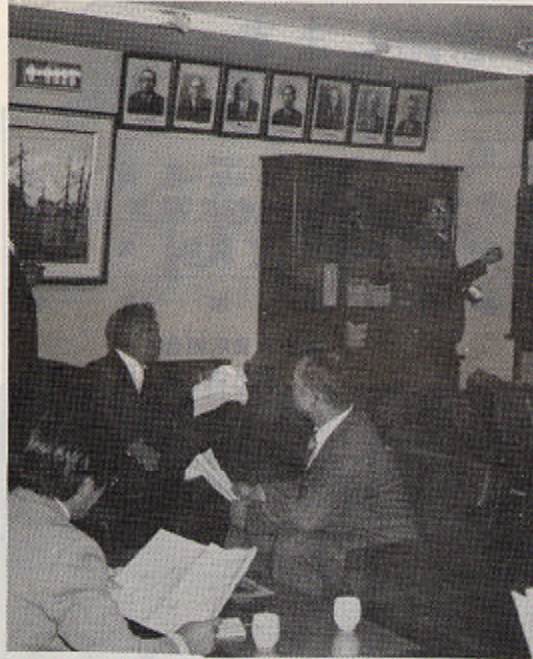
# 国会と富士川町を

## 視察して

### 大林政雄議員

2月16日から18日にかけて私達議員一行は、国会議事堂と静岡県富士川町、静岡市の登呂遺跡を視察しました。

国会は国の最高機関であり、唯一の立法機関であります。私達が視察した日は、衆議院で予算委員会が開かれており、傍聴は出来なかつたが、ロビーにはたくさんの方々が国会の模様を本紙に伝えていました。



視察記

本会議場は会議が開かれていない見学だけに終わりましたが、威厳に満ちており、天皇陛下の御座所議長席、大臣席そして議員席とかがこれこめて見入った次第です。休憩室では、当選挙区選出議員の1人である住業作氏と歓談することが出来ました。

静岡県富士川町は、静岡県の中央部に位置し富士川の河口にあります。この地方は古くから製紙工

業が盛んな所で、駿河湾のヘドロ公害で注目されたことがあります。河川敷公園は、富士川を狭めて堤防を作り、ヘドロを埋め立てて公園が出来ております。町営のスポーツ広場は軟式野球場が2面、サッカー場が2面、これは国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1負担となっており、ヘドロ処理のための事業となっており、交通の便が良く、年間利用人数は大変多い。

次に訪れた静岡市の登呂遺跡は昭和18年に発見され、古代の農耕生活が明らかにされたものです。この集落は12軒の家と2棟の倉庫からなり、8ヘクタール程の水田を耕していました。

遺跡は公園化され、家や倉庫などの建物は復元されており、火を使った跡など、当時の様子が一目でわかるようになっております。入善町で発見されたじょうへのまは、学術上重要な遺跡でありますから、登呂遺跡とまではいかなくとも模型で復元するなど、一般の人にわかりやすく親しみやすいものにする必要があると感じました。



整備された集落排水路

## 採択された請願☆陳情

- 道路舗装について請願(下飯野)
- 農道の改良、舗装について請願(下飯野)
- 青島地区の用水路改修に関する請願
- 農道舗装に関する請願(高島)
- 農道舗装に関する請願(横山4区)
- 入善地域沿岸漁業構造改善事業に係る地元負担の軽減について請願
- 消雪工事について請願(下今江)
- 戦後強制抑留者補償に関する請願
- 漁業センター建設方請願(芦崎)
- 防火用水路改修方請願(芦崎)
- 道路建設方請願(芦崎)
- 交通安全灯設置について陳情(飯野地区)

16日	総務委員会
18日	文教厚生委員協議会
18日	産業建設委員会
19日	議会運営委員会
20日	第26回議会定例会
24日	議員全員協議会
4月	
8日	富山県町村議会議長
10日	県外研修(沖繩県)
22日	都3町議会議長県外
24日	研修(京都府・兵庫県)
21日	議会だより編集委員会
5日	文教厚生委員会県外
1日	視察(石川県松本市山中町)

- 道路舗装について陳情(三ツ家)
- 昭和56年度における河川及び道路の改修に関する陳情(横山地区)
- 人家密集地における排水溝の改良改修についての陳情(横山地区)
- 道路路肩擁壁コンクリート舗装および拡幅についての陳情(横山地区)
- 農業用水、生活用水等の確保についての陳情(横山地区)
- 野中小学校の便所の水洗化についての陳情
- 園家用水路の改修について陳情
- 青島分譲地の生活環境整備についての陳情
- 入善町運動公園山側野球場夜間照明に関する陳情

## 寄付者のご厚志に深く感謝します。

寄付年月日	寄付金品	寄付目的	寄 付 者	
			住 所	氏 名
55. 12. 11	図書 75冊 (¥ 578,500)	西中学校の備品として		西中学校同窓会 西中学校同窓会会長
55. 12. 12	暖房器1台、座ぶとん40枚、他 (¥ 100,000)	老人憩いの家の備品として	入善町入膳 5495	扇 原 久 松
55. 12. 16	育英奨学資金として (¥ 2,000,000)	入善町へ	入善町入膳 5291	山 本 正 勝
55. 12. 22	図書 34冊 (¥ 27,200)	児童館の備品として		富山県書店組合 理事長 丸 田 外喜男
55. 12. 27	図書購入費として (¥ 1,000,000)	町立図書館の備品購入費として	入善町入膳 6250の2	田 中 忠 一
56. 1. 7	O・H・P1台、プリントゴッコ4台、 保管庫1台 (¥ 113,000)	飯野保育所の備品として		昭和55年度母の会 代表 鍵 田 幸 子
56. 1. 16	グランドピアノ 1台 (¥ 1,000,000)	栢山小学校の備品として	千葉県松戸市松戸 新田 577	上 島 幸 春
56. 2. 7	テレビ 1台 会議机 20脚 (¥ 350,000)	農村環境改善センターの備品として	東京都港区南青山 2-22-3	笹島建設株式会社 代表取締役 笹 島 信 義
56. 2. 13	ステレオプレイヤー・カセット (¥ 80,000)	青木保育所の備品として	入善町青木 2282	泉 富 美 雄
56. 2. 13	雛人形 一式 (¥ 215,000)	南部保育所の備品として		昭和55年度母の会 代表 扇 原 優子美
56. 2. 13	ジャンボプラボン 1セット (¥ 30,000)	"	入善町入膳 3800の6	道 原 一 郎 商 店
56. 2. 17	絵本スタンド 3台 (¥ 36,000)	舟見保育所の備品として		昭和55年度母の会 代表 梨 木 和 美
56. 2. 18	講堂暗幕、ステージ幕 (¥ 300,000)	入善小学校の備品として		入善小学校PTA 会長 室 郁 雄
56. 2. 18	ステレオ 一式 (¥ 166,060)	"		入善神社氏子一同 代表 岩 場 勝 郎
56. 2. 18	紅白幔幕 一式 (¥ 58,400)	"		入善小学校自卓同窓会会長
56. 2. 18	講堂暗幕 一式 (¥ 130,000)	"		"
56. 2. 19	雛人形 一式 (¥ 80,000)	西部保育所の備品として		昭和55年度母の会 代表 小 摺 戸 芳 恵
56. 2. 19	パールティンパニー 2台 ティンパニーマレット 一組 (¥ 278,000)	入善中学校の備品として		入善ライオンズクラブ 会長 岩 場 俊 夫
56. 2. 19	飛び箱 1台 移動鉄棒 1組 (¥ 42,500)	栢山保育所の備品として		昭和55年度母の会 代表 扇 原 益 美
56. 2. 24	雛人形 一式 (¥ 120,000)	横山保育所の備品として	入善町横山 1751	松 永 米 作
56. 2. 24	舞台幕 一帳 (¥ 120,000)	野中小学校の備品として	入善町墓ノ木 56	中 山 広 志

## 編集後記

今冬の豪雪は筆舌に尽くしがたく難儀をさわめました。そのせいか待遠しかつた春はことごとくすばらしく、この喜びは雪国に住む者でなければ味わえないものと強く心に感じました。

新緑となり、春耕にはげみ、田植エシーズンとなりましたが機械化によりつかの間で完了します。こう申せば休む間もないようですが、レクリエーションスポーツ、山菜つみ等各自に見合った活動を野外に求め、太陽の下で、清浄な空気をいっぱい吸い健康な身体を養いましょう。昨年のような冷夏でない事を祈り、より多くの作物の収穫を期待したいものです。

## 編集委員

米島一信 若島信行  
岡島松次郎 上野幸一  
岩場俊 小林与三雄  
江畑伊作 福沢万次

